



### 3. 活動内容

#### (1) 1年間の主な活動内容

#### 「ほくたち、わたしたちの町 “大好き！岩西” ～地域から学ぶ、地域で学ぶ、地域に学ぶ～

本校では、これまでも地域の特色ある施設や特色ある取り組みをされている方、さらに地域性の高いさまざまな行事を授業に取り入れることにより、地域に関わり、地域に愛着をもつ子の育成を旨とした教育活動を実践してきた。

地域の人・もの・自然とすすんで関わることで、地域に学び、地域との関わりを深める子どもを旨として、総合的な学習の時間・生活科・道徳を関連づけた教育活動の展開を工夫してきた。この中で各学年それぞれの取り組みにより、校区のじまんでできる場所の発見とその紹介、校区に在住する広い視野をもった方からの学び、また、校区のために無償でボランティアを続ける方たち方から思いを知ること、さらに、祭礼や町自治会の活動など校区の取り組みを知ることができた。

このことを「持続発展教育」(ESD)

の推進に結びつけていくために、これまでの各学年の教育課程を見直し、学年間の連携および継続を意図的・計画的に図ることとした。学年間の生活科・総合的な学習の時間の内容を段階的にステップアップできるように整理し、学年内において道徳との関連を意識した実践を進めていく。このことから、6年間、そして中学校への引き継ぎにより継続的な実践を行うこと



で、将来にわたって地域のよさを知り、地域に住む自分といった意識を高めていくことができ、岩西が好きな子どもを育てたいと考えている。

#### (2) プロジェクトの目的

本校では、ESD への取り組みの入り口を地域連携の立場からとしたい。なぜならば、本校児童は学校創立以来、隣接する特別支援学校、給食調理場、福祉施設など、地域の多様な施設との交流や地域にある商店などを題材とした学習を続けてきた。さらに、平成 21 年度から 3 年間、市の研究委嘱「地域連携推進」を受け、従来の取り組みを整理し、各学年の生活科・総合的な学習の時間に位置づけたり、道徳等の授業との関連を図ったりするなどの取り組みを行ってきた。この中で、各学年の発達段階に即した単元を構成し、題材としても自治会の主催する祭礼など、地域の取り組みを取り入れた。このことから、近年、「地域に密接した学校」という意識がより強くなってきた。この取り組みを持続発展させ、地域に根づいた文化の継続、伝承、地域の環境保全を図っていくことも目的としたい。そのために本校では、以下の三つの活動で次のような目標を掲げる。

#### ① 地域を題材とした各学年の単元の構想

- ・ 生活科および総合的な学習の時間における単元構想
- ・ 地域を取り入れた単元構想に関わる道徳および特別活動の授業構想
- ・ 地域教材としての人的・物的資料のデータベース化

地域に関わる教科・領域の授業について、単元構想を立てるとともに、そこに  
関わる教材の開発および整理・保存を行うことで、地域資源の継続的な有効利用を  
目指す。

② 地域連携を密にする活動および組織の構築

- ・ 同じ中学校区の中で共同開催し、小中学生と地域の大人たちがよりよい  
校区にするために何ができるかを話し合う「TNP会議」
- ・ 自治会、学識経験者、地域の有識者、地域ボランティア代表、学校職員  
による「地域教育推進委員会」の設置

地域を巻き込んで実施することで、地域の中の学校といった意識の向上を図る。  
また、地域ボランティアの学校参加、児童の地域ボランティア活動を通して、そ  
れぞれの地域に対する愛情を高める。

③ 地域に伝わる文化にふれる活動・地域が主催する行事への参加

- ・ 地域行事の調査および校内での共通理解
- ・ 地域行事への積極的な参加に対する啓発

地域の祭礼や隣接する特別支援学校や福祉施設の行事などの実施状況を調べ、そ  
の存在を校内で交流し、共通理解を図る。そして、その積極的な参加を目指して、  
窓口紹介や役割分担の可能性について教育活動の中で検討を実施し、地域のさら  
なる関わりや地域の一員としての意識を高めていく。

**1年生**…お年寄りの方から、昔遊びを教わる。

**2年生**…栽培活動

- ・ 夏野菜、冬野菜を育てる。地域の野菜名人に育てるコツなどを教えて  
いただく。

校区探検

- ・ 地域にはどんなお店や施設があるのかを歩いて見つける。訪問し、中  
を見せてもらったり質問をしたりしたことをまとめ、発表をする。

**3年生**…「岩西よいとこ大作戦」

- ・ 地域のよいところを知る・見る・伝える
- ・ もっとよい校区にするために活動をする。

**4年生**…隣接している特別支援学校との交流

- ・ ペアを作り、1対1、2対1の活動を通して心の交流、共に生きる  
ということを学ぶ。
- ・ 支援学校の友達と一緒に遊べるゲームや活動を子どもたちで考え、実  
行する。

**5年生**…仕事体験

- ・ 地域の働く人たちへのインタビュー
- ・ 地域の職場での仕事体験

**6年生**…国際理解について

- ・ 外国文化を知る。
- ・ 外国の食べ物を実際に食べてみる。
- ・ 在籍している外国籍の子の気持ちを知る。
- ・ 外国出身の子どもたちの支援をしている地域の方の話聞く。
- ・ 自分たちは立場の弱い人たちに何ができるか考える。

## 各学年の育みたい力と題材と教材のつながり表

学年	育みたい力➡	題 材 ←	単元/教材
1年生	人との関わりを大切に、相手に言葉で伝える力	学校と学校を取り巻く地域、みんな ●地域とのかかわり	はきはきあいさつ 学校に来る道で出会った人、モノなど みんなに守られている みんなの公園 あきとなかよし 七夕飾りを作ろう（地域のお年寄りと） 昔遊びに挑戦（お年寄りと） 春を探そう おじいちゃん、おばあちゃん ありがとう
2年生	問題や「ひみつ」をみつけ、聞く力、話す力、まとめる力を育む。	校区探検 ●地域理解 ●地域への愛着 ●地域とのかかわり	春みつけ 夏みつけ 秋みつけ 冬みつけ たんぼぼ、迷い犬、昔話、名人紹介、おもちゃ教室、野菜名人（夏野菜、冬野菜） 大根パーティー 西口団地のお店
3年生	地域の良さを発見！受け継ぐ心、伝え合う力の育成	よいとこ大作戦 ●地域への愛着 ●地域とのかかわり	
4年生	みんな同じ人間！よいところを見つけ合い、育ち合う心を育む。	みんなは一人のために、一人はみんなのために ●多様性 ●人権尊重 ●他者理解	
5年生	立場の異なる人との交流などを通してよりよい生き方を考える力の育成	自己理解 大人になる ●自己肯定 ●未来思考力	
6年生	Think globally Act locally 多文化共生への心構えを育む。	踏み出そう世界への第一歩 国際理解 国際協力 ●多文化の理解 ●環境の教育	

### ■第3学年テーマ

校区のよいところを見つけよう「岩西よいところ大作戦」

#### ■ねらい

住んでいる地域の人・もの・自然のよさに気づき、地域のために活動することができる。

#### ■実践①

社会科の校区探検から始まった3年生の本実践。知らないことがまだまだたくさんあることに気づき、家族や上級生に岩西校区のよい所をインタビューした。教えてもらった人や場所の中から自分の興味のあることを調べに行くためのグループを編成し、探検に出かけた。その際、保護者ボランティアをお願いし、安全面での確保をした。初めて会う方も多かったが、校区の方は快く子どもたちを受け入れてくださり、質問に丁寧に答えてくださった。7月、子どもたちが調査してきたことの報告会を各学級で行った。自分たちが調べてきたことをより多くの人に知らせたいという思いの一方、学級の友達から質問されて答えられず悔しい思いをもった。また、他のグループの調査を聞いて自分たちもこういう質問をしたいという思いももち、新たな探検への意欲が高まった。9月の2度目の探検は、もっと詳しく調べるために、質問項目を前回以上に深く考えて行った。どの方も岩西校区のことを考えてくれていて、岩西校区・岩西っ子が好きだと思ってくださっていることが分かった。探検を通して詳しく調べたことをもっと多くの人達に知らせたいと、2年生・今回の学習でお世話になった地域の方・3年の保護者を招待して、「岩西よいところ発表会」を行った。分かりやすく伝えるため、発表方法を工夫し、絵や写真や実物を見せたり、クイズを取り入れ説明したことを確認してもらったりした。今後は、もっとよい岩西校区にしていくためにはどうしたらいいかを考え、それを発信していく活動につなげていく予定である。

#### ■成果

本実践を通して、自分たちの暮らす岩西校区の良さを再発見することができた。また、探検を通し、地域の方と顔見知りになることができ、校外でも声をかけ合うことのできる子どもも増えた。校区の良さというのは、場所だけでなく、住む人の温かさがとても大切だという思いを共有することができた。

### ■第5学年テーマ

「未来へのSTEP UP」～地域で働く・思いを知る～

#### ■ねらい

住んでいる地域の人など身近な人とのかかわりを通して、自分の将来に目を向け、毎日の生活の向上を図る。

#### ■実践②

5年生は地域の方とのかかわりを通して、自分自身を見つめなおしたり、どんな大人になりたいかを考えたりしている。そして思い描く自分の将来像に向かって、「今」できることを考え、自分の良さや友達の良さに目を向けながら行動できるようにしている。

4月、今の自分のよいところやこれからの自分について考えた。そして、子どもたちはこれから1年後、10年後、将来の自分はどんな大人になりたいのかを考えた。さらに、どうなることが「大人」なのかを考えた。

子どもたちの漠然としている大人についてのイメージをはっきりさせるために、子どもたちがこれまでの学習で何度かお世話になった地域の洋菓子店の方

に話を伺った。洋菓子店の仕事の大変さや自分の作った商品が売れることへの喜び、これからの夢を語る姿などに子どもたちは真剣に聞き入った。仕事へのこだわりや新たな夢をもち働く姿に触れた子どもたちは、大人はどのような思いで働いているか関心を高めた。もっといろいろな人に聞きたいと考えた子どもたちは、これまでの学習でお世話になった地域の方や身近な大人へのインタビューを行った。仕事によって、人によって考えていることは違うけれど、大変でもやりがいがあり、がんばって働いていることを知った。

大人はどんな思いで働いているか、もっと知りたいと考えた子どもたちは、夏休み期間中に実際に仕事の体験を行うことにした。学校にあるデータベースをもとにして地域の職場へ「仕事体験」を依頼した。以前も引き受けたことがあるからと多くの職場で快く受け入れていただくことができ、これまでの地域とのつながりがいかに大切であるかをあらためて感じた。1日のうち3時間程度であったが、普段とは違う環境での活動に対して、充実感を得ていた。あいさつや掃除などは、学校でも仕事でも大切であるということ子どもたちは学ぶことができた。子どもたちの心には、仕事は思っていた以上に大変だということを知った。さらに、大変であってもいつも笑顔で楽しそうに働く姿に感動し、そして保護者への感謝の気持ちをさらに高めたり、こんな大人になりたいという思いを強くしたりすることができた。

あこがれとなる大人像をもった子どもたちは、そんな大人になるために、今の自分にできることは何かを考えることができた。

#### ■成果

地域の方の協力で「仕事体験」をさせてもらうことで、仕事の大変さを感じ、大人はどのような思いで働いているのかを実感することができた。仕事体験を通し、自分の将来の夢やどんな大人になりたいかを考えるきっかけとなり、普段の自分がどのような行動をしていけばよいか考えることができた。

